

1. 村民アンケート

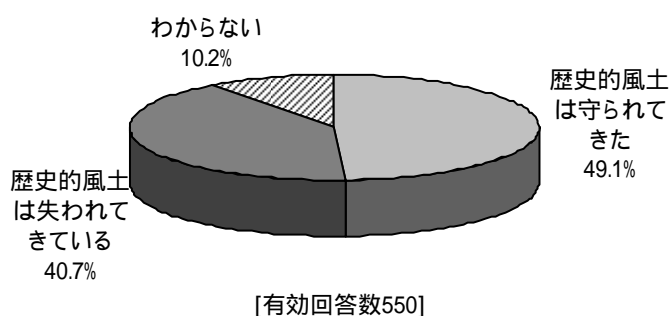
1 - 1 . 平成 19 年度全世帯アンケート

(第 4 次明日香村総合計画策定のための住民アンケート調査)

(1) 歴史的風土は守られてきたか

「歴史的風土は守られてきた」との回答が 49.1%を占めるが、「失われてきている」とする人も 40.7%ある。

図 -1 歴史的風土保存の評価

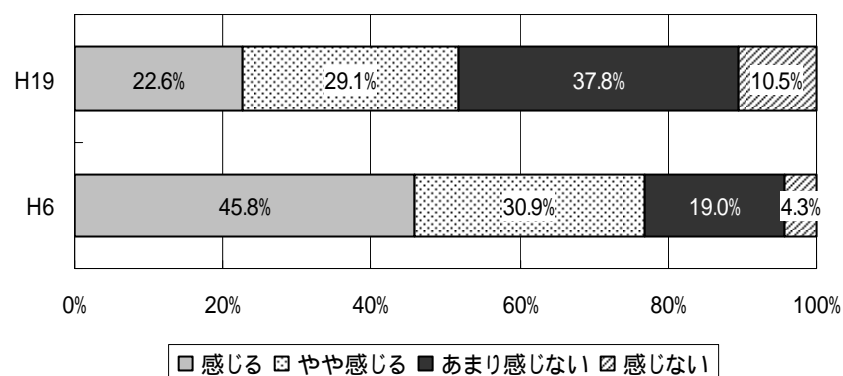


(2) 歴史的風土保存のための規制に不便を感じるか

平成 19 年度アンケートでは、歴史的風土保存のための規制を「あまり感じない」とした人が 37.8%と最も多い。

平成 6 年に実施されたアンケート調査と比較すると、明日香法による規制感が薄らいできたことが示唆される。

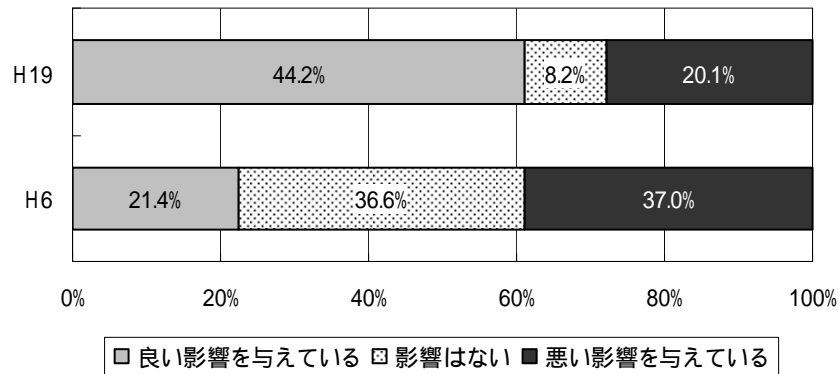
図 -2 明日香法による規制感



(3) 明日香法は村の発展や活性化にどのような影響を与えているか

「良い影響を与えている」と回答した人が44.2%と最も多い。
 平成6年度アンケート調査では「悪い影響を与えている」との回答が37.0%と最も多い結果であったことと比較すると、明日香法への評価が高まってきたことが示唆される。

図 -3 明日香法の村の活性化への影響



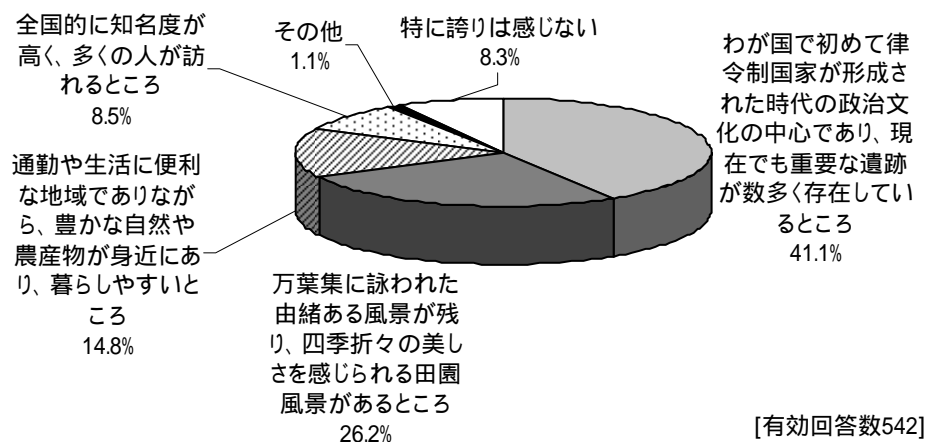
平成19年度調査は「わからない」「不明」との回答を除外した割合を示している。

(4) 明日香村に感じる誇り、魅力

明日香村へ感じる誇り・魅力として、「わが国で初めて律令制国家が形成された時代の政治文化の中心であり、現在でも重要な遺跡が数多く存在しているところ」(38.9%)が最も多い結果となった。

その他の意見では、「謎の多い遺跡が多く存在し、夢を感じる」、「静かに暮らせること」や「遺跡の構造物や水路などから高い技術力が実感できる」などが挙げられた。

図 -4 明日香村の誇り、魅力



(5) 施策分野別の満足度と重要度

37の施策分野別に現状の満足度と今後の重要度を5段階で評価してもらった。その結果を偏差値化してグラフにしたものが下図である。

現状の満足度が低く(偏差値50未満)かつ今後の重要度の高い(偏差値50以上)分野は、河川整備(No.5) 総合・救急医療(No.9) 文化財保存活用(No.20) 森林保全(No.21) 農地保全(No.22) 河川保全(No.23) 集落・街並み保全(No.24) 遊休農地・放置森林対策(No.26) 人口誘導(No.33)であった。

図 -5 施策分野別の満足度と重要度

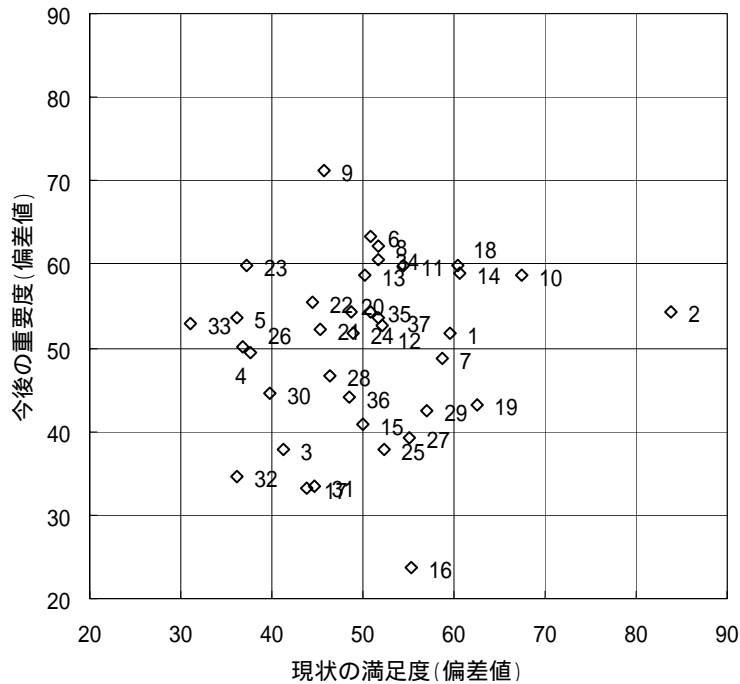


表 -1 施策分野別の満足度と重要度(偏差値)

No.	質問項目	現状の満足度	今後の重要度	No.	質問項目	現状の満足度	今後の重要度
1	道路	59.5	51.7	20	文化財	48.8	54.4
2	上下水道	83.8	54.4	21	森林保全	45.2	52.2
3	公園緑地	41.3	37.9	22	農地保全	44.5	55.5
4	公共交通	37.7	49.5	23	河川保全	37.2	59.8
5	河川整備	36.1	53.7	24	集落・街並み保全	49.0	51.7
6	防災	50.8	63.4	25	農業基盤整備	52.4	37.7
7	公共施設	58.7	48.7	26	遊休地・放置森林対策	36.9	50.1
8	日常医療	51.8	62.3	27	特色ある農業	55.1	39.3
9	総合・救急医療	45.8	71.1	28	農林業担い手	46.4	46.7
10	保健・予防	67.4	58.7	29	観光誘客・PR	57.0	42.6
11	高齢者福祉	54.5	59.8	30	観光施設整備	39.9	44.5
12	障害者福祉	52.2	52.7	31	商工業振興	44.8	33.4
13	子育て支援	50.2	58.7	32	雇用創出	36.1	34.7
14	教育	60.7	58.9	33	人口誘導	31.2	52.8
15	母子家庭等	50.0	40.9	34	情報公開	51.7	60.5
16	趣味・教養	55.3	23.6	35	村民参加	50.9	54.2

17	スポーツ	43.7	33.2	36	行財政運営	48.6	44.1
18	ゴミ・リサイクル	60.5	59.8	37	住民活動支援	51.8	53.5
19	伝統文化継承	62.5	43.3				

(6) 今後優先的に取り組むべき分野

今後の村づくりにおいて優先的に取り組むべき分野を3つ選択し優先順位(1~3位)を付けてもらった。

優先的に取り組むべき分野としては、「生活基盤の整備」、「少子高齢化や人口減少への対策」、「自立した村財政の確立」の順で優先度が高い結果となった。また、この3分野を優先的に取り組むべき分野として選択した回答者が全体の約18%(98件)を占め、最も回答数が多い結果となった。

表 -2 今後優先的に取り組むべき分野

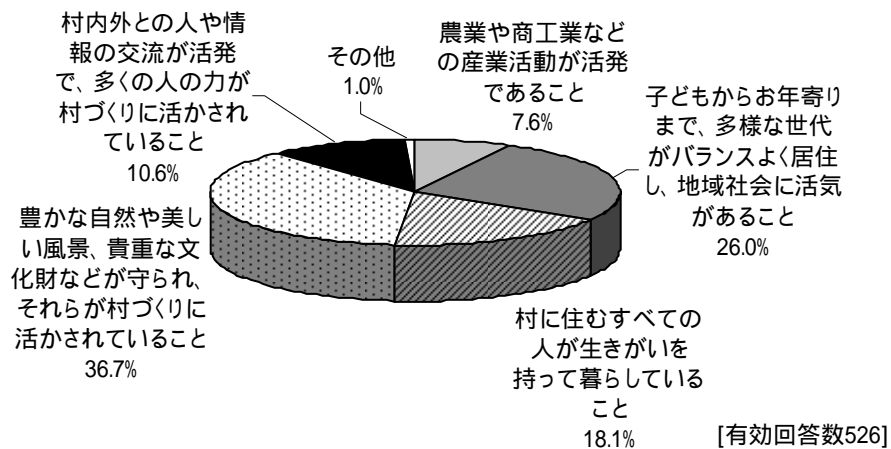
	生活基盤の整備	少子高齢化や人口減少への対策	景観や自然環境の保全	農業や商工業の活性化	自立した村財政の確立(財政の健全化)	その他
1位	145	117	67	47	127	13
2位	105	125	97	91	90	4
3位	82	122	99	106	91	4
点数	727	723	494	429	652	51

点数は、1位=3点、2位=2点、3位=1点として計算

(7) 村おこし(活性化)とは何か

回答者の考える「村おこし(活性化)」とは何かを質問したところ、「豊かな自然や美しい風景、貴重な文化財などが守られ、それらが村づくりに活かされていること」が36.7%と最も多く、次いで「子どもからお年寄りまで、多様な世代がバランスよく居住し、地域社会に活気があること」が26.0%となった。

図 -6 村おこし(活性化)の方向性



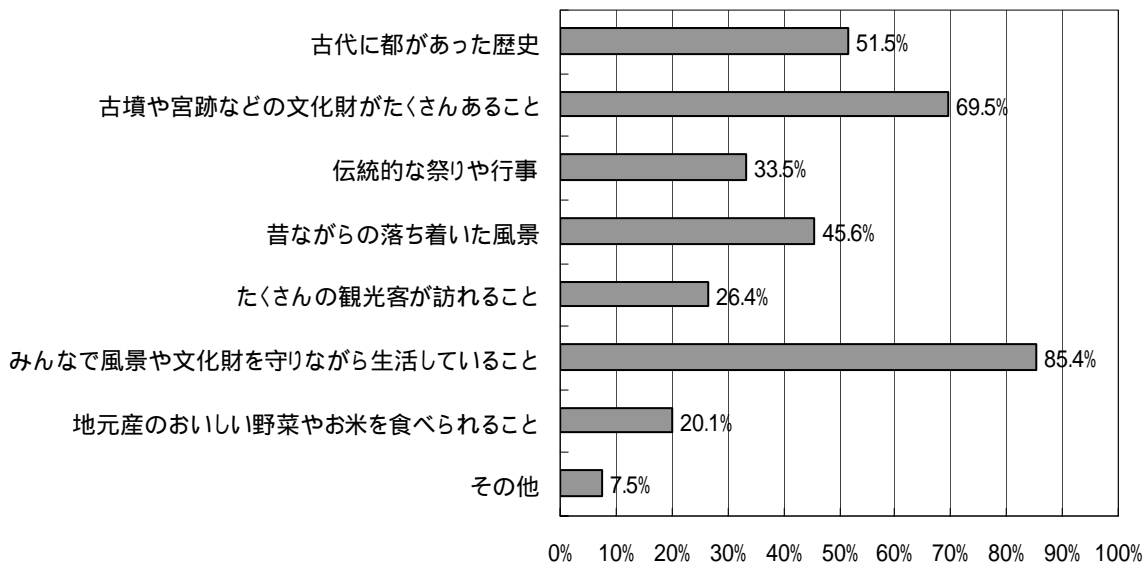
1 - 2 . 平成 19 年度小中学生アンケート

(明日香小学校、聖徳中学校における“むらづくり”アンケート)

(1) 大切にしたいもの、自慢したいもの

明日香村で大切にしたいもの、自慢したいものとしては、「みんなで風景や文化財を守りながら生活していること」が85.4%と最も多い結果となった。

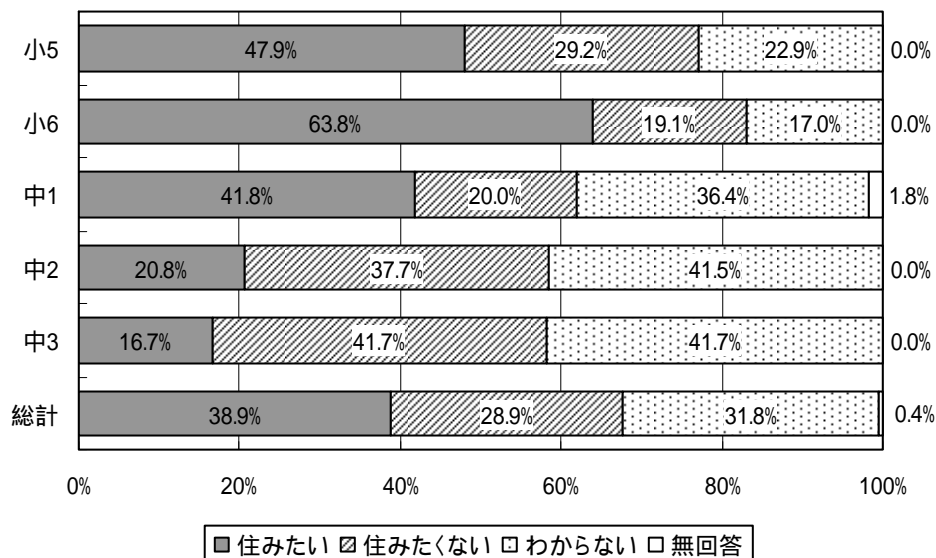
図 -7 大切にしたいもの、自慢したいもの



(2) 将来の定住意向

小学生では将来も明日香村に「住みたい」とする割合が半数以上を占めるが、中学生になると低下し「住みたくない」「わからない」が増える。

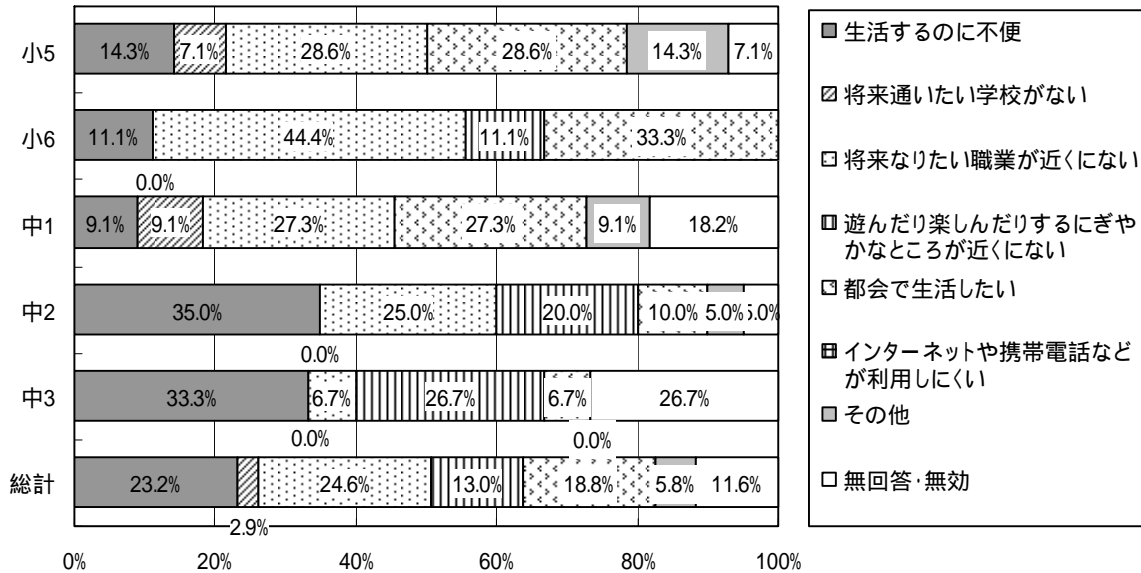
図 -8 将来の定住意向



(3) 将来明日香村に住みたくない理由

将来明日香村に住みたくない理由としては、中学1年生までは「将来なりたい職業がない」「都会で生活したい」が大きな理由となっているが、中学2～3年生では「生活するのに不便」「遊んだり楽しんだりするとにぎやかなところが近くにない」が増える。

図 -9 将来明日香村に住みたくない理由



(4) 明日香村の将来像

明日香村の将来像としては、各学年とも半数以上の児童・生徒が「古墳や宮跡など文化財が大切に守られている村」と「自然が豊かで四季を感じることができる村」を選んだ。

図 -10 明日香村の将来像

